

令和2年7月30日

三田市民病院事業管理者

荒川 創一

三田市民病院における新型コロナウイルス感染症に対する診療対応について

三田市民病院では、本年2月から新型コロナウイルス感染症の疑いがある発熱や気道症状を有する患者さんは、一般外来とは別に受付を設けた発熱外来（別称：帰国者・接触者外来）において、一般の患者さんと交差しない専用の診察スペースで診察し、国の指針等に照らし必要と判断された方にはPCR検査などを行ってきています。

また、4月からは新型コロナウイルス感染症と診断された患者さんを、所管の保健所等との調整に基づいて他の患者さんとは分離した感染症対応用の病室に受け入れてきていますが、院内感染が生じないよう職員一同細心の注意を払うとともに、患者さんの動線の分離などの工夫により、安全安心な診療対応を徹底しており、現在まで院内感染等の事象は発生しておりません。

一方で、この間におきましても救急医療を縮小することなく行い、地域の基幹的医療機関である当院の本来の使命であります急性期医療も滞ることなく遂行してきております。

このように、現在当院では感染防止対策を徹底した上で、通常通りの診療を行っておりますので、三田市民および周辺市町の地域の皆様におかれましては、引き続き当院を安心してご受診ください。

この間、市民をはじめ多くの方々から感染防止のための防護具（マスク、フェイスシールド、ガウン、その他）や寄付金等をいただきました。職員を代表いたしまして、この場を借りて、御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

6月中旬以降、全国的に新型コロナウイルス感染者数が急速に再増加してきている状況にありますが、改めて職員一丸となって皆様に安心が届けられますように、地域医療の推進に全力で取り組んで参りますので、ご理解、ご支援のほどよろしくお願いいたします。